

現在はニューヨークのラボで現像を行っている。

通常の展示では額装することが多い。横イチでの展示が多い。

サンパウロので予定される個展では、もっとランダムに日記的な展示を行う予定。

◎ハーバード大学感覚民族誌学ラボ

「リヴァイアサン」を映像インスタレーションのかたちで展示予定。

アメリカ近海の漁船に密着取材してゴープロカメラで撮影した映画。

あいちでは、映像インスタレーションバージョンで展示予定、加えて映像プログラムでも上映予定。

◎キャンディーファクトリープロジェクト

メディアに焦点を当てたプロジェクト型展示

各国のアーティスト個人と共同制作を多くしているので、今回も複数名のアーティストを巻き込んで長者町で展開する予定

◎ジョヴァンニ・アンセルモ

名古屋市美で展示予定。自然光の差し込む展示室に石の作品を設置する。石の上に一節が単語ごとに並ぶ「この上に乗ると、ワンスパンだけ天の星に近づくことができる」

→作品の上に実際に乗ることができる。

最初の展示室がよいか？石なので船便での輸送。

◎ニコラス・ガラニン

アラスカネイティブのトリンギット出身

あいちの作品に向けて10月末にリサーチ来日。北海道のアイヌの人々と出会った上で何らかの新作を制作する予定。

◎三田村光土里

◎西尾美也

pub robe

衣料の制作、販売、回収というリサイクルが視覚化されるような展示形態を実現したい。

ファクトリーのような形態を取れないか？

美術館と長者町が連動することを提案

◎大巻伸二

他にもフラワーイメージをプリウスカーに使用したり、作品を空港に設置してメインイメージとして打ち出すことができないか ()

◎岡部昌生

日本各地の樹木（歴史や震災の記憶が刻み込まれた木）をフロッターージュしたシリーズ
日本各地の土によるドローイング作品シリーズ
2つのシリーズを連動させることによって日本近代の歴史を照射するような展示とする

◎クリス・ワトソン

愛知県と同じ緯度・経度の世界各地を旅しながらフィールドレコーディングをした音により、サウンドにより地球全体の旅を展示室内に再現する展示となる。音による地球旅行

◎山城知佳子

あいちに向けて新作を準備中。沖縄の置かれたさまざまな状況をテーマに映像作品を制作してきた。

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

◎小杉武久

サウンド・インスタレーション
繊細なタイプの作品を展示予定
展示構成について

[REDACTED]: プレゼンテーション

①Abdullah Al Saadi ◎

https://en.wikipedia.org/wiki/Abdullah_Al_Saadi

b. 1967, Khorfakkan, United Arab Emirates. Lives and works in Khorfakkan

Carmar Cande's Journey

ヴェネツィアビエンナーレ(2015): ペインティング作品

シャルジャアートファウンデーションでの展示(2013):

骨を集めて再構築した動物のオブジェや、拾い集めた石にドローイングして床に置いて展示する作品など。モチーフは道や山、木など自然の物が多い。

・94-96年にかけて京都精華で日本画を学ぶ

○推薦の理由

・日本での展示に際してアーティストがどのように変わるのか見られるのではないかと。

[Redacted text block]

○問題点

[Redacted text block]

④ [Redacted]

[Redacted text block]

※参考: [Redacted]

[Redacted text block]

⑤Hassan Khan ◎

<https://www.crousel.com/home/artists/Hassan%20Khan/bio>

シャルジャ(2015)

[Redacted text block]

マイノリティーを扱うことが多い。

[Redacted text block]

⑥ [Redacted]

[Redacted text block]

音を扱う。サウンドというものがいかに雰囲気づくりや人間関係にとって重要な影響力を持っているかについての思考。

※参考: [Redacted]

[Redacted text block]

アーティストはパフォーマーを「Performer パフォーマー」とは呼ばずに常に「Sculpture 彫刻」と呼ぶ→人間を object として扱う姿勢

③ [Redacted]

[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]

④ Natascha Sada Haghigian

Fluto of one's labor

<http://www.guggenheim.org/video/natascha-sadr-haghighian-conversations-with-contemporary>

[Redacted]

⑤ [Redacted]

[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]

[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]

⑥ [Redacted] [Redacted]

[Redacted]
[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

⑦Wendelien van Oldenborgh

<http://dutchartinstitute.eu/page/1448/wendelien-van-oldenborgh>

オランダ

Film *From Left to Night* 15minut

- ・ 場所から場所への移動
- ・ 場所場所で全く異なる会話が展開される

⑧ [Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]